

# 乳児期における適応方略としての自己主張行動に関する研究

倉盛美穂子  
(鈴峯女子短期大学)

## 【問題と目的】

乳児同士のいざこざ場面を観察すると、子どもが自分の思いを表出する際に、かみつみやひっかくといった身体的方略を自己主張の方法としてとることがある。その後、身体的発達、言語能力の発達、認知能力、衝動や感情をコントロールする力の発達に伴い、押し倒し、たたく、けるといった身体的方略から、説得や抗議などの言語的な方略へと変化するとされているが(高濱, 1995; 倉盛, 2009)、その変遷過程自体は明らかにされていない。かみつぎ行動は、相手に怪我を負わせてしまうこともあることから問題行動と捉えられたり、愛着の問題や精神的不安定さから生じる行動と解釈されたりすることも多く、自己主張の発達の一過程とは理解されないことも少なくない。そこで、本研究では、乳児期の子どもたちのいざこざ場面での交渉方法が、身体的な主張行動から言語的な主張行動へシフトすることを確かめ、さらに、乳児期の自己主張行動方略と、個々の言語発達、社会的行動発達、愛着との関連を検討し、身体的方略から言語的方略へシフトを促進させるメカニズムを検討することを目的とする。

## 【方法】

**対象者** 広島県S保育園 1歳児クラス 34名 保育士6名 2歳児クラス 48名 保育士9名

**調査時期** 2011年7月から8月 2012年2月から3月

**手続き** S保育園の1・2歳児クラスの担当保育士に乳児同士のいざこざ場面の記録を依頼した。加えて、各子どもの言語発達及び社会性発達を査定するために、KIDS(乳幼児発達スケール)の評定を保育士に依頼した。今回は、KIDSの「理解言語」「表出言語」「対子ども社会性/友達との協調行動」「対成人社会性/大人との関係」の4つの領域に限定し、保育者は各質問項目内容が該当児に現時点でできるか否かを回答した。愛着の状態については、「乳幼児用愛着評定尺度(立元・西山・田爪, 2000)を使用し、保育者は「保育者に対する信頼良好な関係」「保育者に対する依存性」「活動性・社会性」3領域に5段階で回答した。

## 【結果】

いざこざ場面での初発行動を、逃避、泣く、身体的行動、言語的行動のカテゴリーに分け、その生起頻度をクラス及び時期ごとに比較した結果、1歳児前期後期は、身体的行動の生起頻度が他カテゴリーよりも多く、2歳児クラス前期後期は、身体的行動と言語的行動が他カテゴリーよりも多いことがわかった(表1)。

次に、いざこざ平均関与数を基に、いざこざ関回数4回以上を高群、0回を低群とする2群を抽出し、高低群の、KIDSの得点及び愛着質問紙の得点を比較した(表2)。その結果、いざこざ高群が理解言語、表出言語の発達の発達がいざこざ低群より進んでおり、いざこざ高群が保育者に対する信頼・良好な関係がいざこざ低群より低調であることがわかった( $p < 0.05$ )。以上より、いざこざ関与数には、理解言語及び表出言語の発達、そして、保育者と子どもの信頼・良好な関係が関係していることが示唆されたと言えよう。

いざこざ関与数が多い子どもには、身体的行動をとることが多い子どもと言語的行動をとることが多い子どもがいることから、身体的行動の多さや言語的行動の多さは、どのような要因を関係しているのかを明らかにするため、次に、いざこざ高群の子どもの身体的行動及び言語的行動を目的変数とし、説明変数として、KIDS発達得点(理解言語・表出言語・対大人社会性・対子ども社会性)と愛着(信頼・依存・活動)を取り上げ、それぞれに重回帰分析を行った。その結果、有意な決定係数が得られた( $p < 0.05$ )。身体的行動の多さは、保育者に対する依存性が高く、保育者に自分に関心をもってもらいたい気持ちが高さによって、説明でき、言語的行動の多さは、保育者と離れて活動できることや、保育者に対する信頼性の高さによって、説明できる。以上の結果から、身体的行動から言語的行動へのシフトは、保育者との愛着関係がKEYであることが示唆された。

表1 初発行動における種類別生起頻度

	逃避	泣く	身体的行動	言語的行動	
1歳児前期	2	0	27	8	$p < .05$
1歳児後期	1	1	16	5	$p < .05$
2歳児クラス前期	2	3	19	20	$p < .05$
2歳児クラス後期	5	4	21	28	$p < .05$

表2 いざこざ高低群の発達月齢差及び愛着

	いざこざ関与数	発達月齢差					愛着			いざこざ場面での行動			
		生活月齢	差理解言語	差表出言語	差対成人社会性	差対子ども社会性	愛着信頼	依存	活動性	逃避・逃げる	泣く	身体的方略	言語的方略
高群	6.5	35.2	5.7	-0.4	-6.0	-5.5	1.9	3.3	2.8	1.2	0.2	3.9	2.7
62人	(0.4)	(1.6)	(2.5)	(1.8)	(2.0)	(1.3)	(0.6)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.4)	(0.2)
低群	0.0	34.2	-2.2	-4.2	-6.3	-6.8	3.6	3.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
21人	(0.3)	(0.9)	(1.4)	(1.1)	(1.1)	(0.8)	(0.3)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.3)	(0.1)